1989年11月1日発行

生も少なからずいる。なかにはこ

た。他の大学を受験してきた学

わからずに入ってきた学生もいる

しがどういう大学であるか、よく

に違いない

始め、入学試験は二月二六日であ

文学部は昨年の暮れに新設が許可

学生はとまどう。無理もない。人

されたため、それから学生募集を

入ったことを誇りに思っている

どうか、本音を言ったら

だけれど、自負心というものは必 はエリートで、いまの学生は大衆

あなたたちはこの大学に

上野千鶴子助教授は「昔の学生

期大学部最後の二年生も加わった

学部生だけでなく美術学部生も短

足らずの教職員が参加した。人文

論会には五十人ほどの学生、

んな企画が行なわれていて、

と銘うって瀬戸内海から対馬、

九州一円を巡る三泊四

京都精華大学を問う」という討

ので、あたかも大学の縮図である。

京都精華大学 京都市左京区岩倉木野町137 企画室TEL075-702-5201

# 学長

部屋で学生主催の討論会が開かれ ーサロンというしゃれた名前の 船に乗って二日目の夜、レイン 人文学部開設記念洋上セミナ ほとんど揺れを感じない。 もう外洋に出ているはずなの いったが、 ているの いはずだ。 にほかの

い、新し 学のありかたがきびしく問われて ら、世界中で大学問題が沸騰し、大 成の大学の欠陥をすべて無くした いた時代である。なんとかして既 創立されたのが一九六八年だか 学生も教職員も、みんなそ かり考えてきた。 の真に自由な大学を創造

れない。 から ています でも学生たちが談笑しているが、 職員もおなじ食堂で飯をくってい し、日曜口も使ってよく、学生も教 用も届を出せば夜十時まで可能だ 挙権と被 教職員全 員の給与の格差を無くし、学長選 生主義 そのとおりだと思う。 よく研究室棟のロビーや廊下 の方式を採用し、教員と職 ね」という声を耳にする 精華の学生はのびのびし 競もふつう大学では見ら 員の討議で決める直接民 選挙権を教職員全員 してきた。学生の校舎使 学の運営や経営を専任 には指否権を与えるな

ぶものが多いので読書だけではな まの学生諸君はほかにいろいろ学

い。どちらがよいかは

一概にいえ

教授が「われわれは旧制高校時代

ことを話してもらいます」。岡井隆

に本ばかり読んでいたけれど、

と現代の学生はどう違うかという

か古風である。「はじめに昔の学生

司会の学生はまじめで、

くるのに四億円もかけるのはどう のですが、違うんですか」、「新聞 れでも海外に行けるように聞いた フィールドワークで希望すればだ かでも発言があった。「人文学部の ない。欠点も目立つようになった に出ていたけれど大学前の駅をつ し、不満も少なくない。討論会のな てもよいことばかりでは

めには英語の力が相当なければな それは誤解です。海外に行くた の費用ではない。

大学は日本でもっともすぐれた大

諸君もわか

ってきただ

らない

学生諸君にいいたい。

京都精華

るのではない。 いうスローガンはだてに掲げてい その自由は自然に存在し ではない。〈自由自治〉と 大学を見にいったらよ これほど自由な大学はな わからない人はためし

となく子供っぽい議論だなと思っ 毒だから、なんとかしてあげてほ 大生は今年で最後になるのは気の 寄りがたいというし、 はもっと親 いなどというのもあった。なん いると、突然きびしい批判がと

りの問題になって、岡井教授が発 をもってほしい 行っても京都精華大学のことをい うようにしている。みんなも誇り そのうちに話題はまた自信や誇 にきたが、きてよかった。どこへ

せ、歓声をあげている。外国人留学 て見た。学生たちは顔をほころば から水平線へと弧を描く虹を初め る。しかも二重の虹である。水平線 板に上がってみると、暮れなずむ す」というアナウンスがあった。甲 している時、「洋上に虹が出ていま 断言した。ありがたいことである。 海のうえに大きな虹がかかってい たが、そんなことはありません」と からみんなで大いにやろうという あとで会ったら、「学生は自信がな いというようなことをいわれまし ことになった。司会をした学生に 終る頃には盛りあがって、これ 対馬から種子島へむかって南下 ています。

各建物ごとに教職員からなる委

ラムにこのような制度を取り入れ

ます。当時、大学の正規のカリキュ

るのは珍しく、世界的な文化都市

であり、また多くの種類の工芸品

生もこの壮大なレインボーに見入 あの虹はなんの徴だったのだろ

芳 光

竹

大半は道路や水路の環境整備のた

る。人文学部生は美術学部生を近 準備に必要なのです」などと答え 設や体育館などの工事をしていく るけれど、 めで、これから教室や学生厚生施 そのうちに学生同士の論争にな うまく理解してもらえ 美術学部生 構想を立案しま

現しました。 り実現しました。また、短期大学 計画です。本年、人文学部とし においては四年制大学への改組の 院が遅れていますが、後は計画

ウンド、厚生棟、クラブ・自治会関 係施設、ギャラリー等が予定され 係施設、講義演習棟、体育館・グラ てすべて計画通りに実現してい 施設整備総合計画(第一期、 がかねてより要望されていまし 室棟(風光館)、仮グラウンド、朽 (春秋館)、研究室棟(流溪館)、実 期)をたてその実現に努力をし きました。そこで、土地問題を含 す。本学の施設は貧弱で、その形 子告等でしたが、朽木学舎を除 第二は施設面における計画 第二期計画は図書館・A・V関 土地問題のため実現されず 第一期計画は講義演習 第 が発足して今年で丁度十年になり

実習にいっ

路を変更した学生もいます。 り、実習したことにより自分の進 のまま就職してしまう学生もあ ていますが、実習したところにそ

十年続けることができましたの

習を受け入れてくれるところがあ

最初は大変心配でした。学外実

教育をなんとか結びつけたいと考を生産している京都と大学の美術

なり、今までの実習学生の総数は

00人になりました。

実習は就職とは全く別だと考え

たところは快く引き受けて下さ 思っただろうか等です るだろうか、また、実習にいく学生 た学生達は実習をしたことをどう てくれるのだろうか、 に忙しい人達が旨く実習指導をし すべて杞憂でした。お願

いをし

感謝しています

(美術学部長

橋田 朗 ちの変わらぬお力添えの賜と深く は、なによりも地元の業界の方た

は、一九八〇年ですから、この制度 一回の実習に学生がいったの 0 親身になって指導をして

なります

告書の中で実習体験がいかに素晴 でおこないましたが、本年度は だきました。また学生達も実習報 らしかったかを報告しています。 二〇人が四二箇所で行なうことに 最初の実習は七五人が一九箇所



羽田梁工房実習風景

# 画・陶芸・アーバンリビングデザ す。美術学部に新分野の設置 の計画と大学院の新設です。 第一は教学面における計画 本学では、およそ四年前に将 及び定員増一二〇十二四 期計画につい 員会が発足して検討されてい が完成するのは、

月の予定です。二期計画は現在の 災工事をしています。全ての工事 めに市街化調整区域を市街化区域 に変更するお願いと排水路等の防 广実習制度 一九九三年の三 - 周年を迎える

現在は二期計画を実現するた # 心からお願いする次第です。

募集の大運動を行なうことになり ます。皆様の絶大なるお力添えを 重なります。 えることになります 施設整備のための寄付金

誠に苦しい状況を迎えます。時は、 十八歳人口が急減していく時期と ぞいにできるので道路からよく見 施設と違って全て叡山電車の線路 で行なうことになり、財政運営は な資金を必要とします。全て借金 このような計画の実現には膨大

施設整備総合計

画

記録映画「

が本学を訪問

故・福井先生の作品 本学へ寄贈

田



第一

田

総会

京都精華大学

「第二回総会」が

「木野会」

# 八文学部はじめての入試

九九〇年度入学試験日程

美 術

展

新人から一言

「国際化」への

国際会館

アワーン

精華

への期

関

美術学部一般入試

一九八九年度

京都精華大学役職者

教職員人事

会費納入のお願い

の納入受付けます。(終身会費一万円)

明窓館·春秋館京都精華大学

就職

状況

午後二時より年後二時より

以上一九八九年四月一日付數教授渡辺信喜 (助教授) 財教授河村源三 (講師)

月三日

刊行につい

(一般・教職)(一般・教職)

上 呉宏明(一般·助 教授)

大沢真一郎 (短大

1990年度 学費一覧

資金収入調整勘定 前年度繰越支払資金 人件費支出

教育研究経費支出 管理経費支出 265,000 借入金等利息支出 225,000 借入金等返済支出 1, 190, 246 施設関係支出設備関係支出資産運用支出その他の支出 880,000 72,000 169,979 分担金支出(予備費) 10,000 15,000 資金支出調整勘定 △81,146

511, 269

次年度繰越支払資金

京都 九 精 九 華 学園 度 役

1988年4月1日から

1989年3月31日まで

1, 858, 986

91,519

280, 641

80,860

498, 275

39,038

2,030,000

596, 596

176, 902

1, 146, 913

239, 445

492, 798

276, 394

学生納入金収入

手 数 料 収 入

初 助 金 収 入

事業収入

借入金収入

前受金収入

資金収入調整勘定

科目人件費支出

教育研究経費支出

管理経費支出

借入金等利息支出

借入金等返済支出 施 設 関 係 支 出 設 備 関 係 支 出

資産運用支出

その他の支出

資金支出調整勘定

内部勒定支出

次年度繰越支払資金

1988年4月1日から

1989年3月31日まで

資産運用収入資産売却差額

管 理 経 費

徵収不能引当金罐入額

消費支出の部合計 当年度消費収支差額 前年度機越消費収支差額

翌年度繰越消費収支差額

\*消費収支差額の△印は支出超過額

1,858,986

91,519

280,641

6,993

37,570

39,039

1,838,605

480,705

167,942

195, 304

12, 108

17,566

## 貸借対照表

	9年3月31日		(単位:千円
資産の部	Total Marie T	All business and	100 100
H II	本年度末	前年度末	10 3成
別 定 資 産	(8, 584, 455)	(8, 112, 188)	(472, 267)
有形固定資産	(7, 658, 228)	(7, 314, 250)	(343, 978)
土地	1,856,362	1, 789, 250	67, 112
雄 物	4,045,285	4, 064, 042	△18,757
福 第 物	732,559	767, 362	A34, 803
雞 股 饭 勘 定	25,000	0	25,000
教育研究用機器備品	659, 877	388, 798	271,079
その他の機器備品	5,947	3, 891	2,056
50 10	332, 415	300, 907	31,508
4 19	783	0	783
その他の固定資産	(926, 227)	(797, 938)	(128, 289)
第 話 加 入 権	1,647	1.347	300
有 飯 蓮 等	1, 151	3, 151	. 0
長 期 賃 付 金	197, 575	190, 485	7,090
进粮舱与引当特定資產	23, 577	23,000	577
減価償却引当特定資産	550,277	319,576	230, 701
維持運営引当特定資産	0	20, 379	A20, 379
資施取得引当特定資產	0	90, 000	△90,000
前3号基本金引当資産	-	441	
(特定基本金引当資産)	150,000	150,000	0
流 動 資 産	(794, 273)	(1,041,772)	£A247, 499)
理 会 預 金	469, 182	516, 540	△47,358
来 収 入 金	25,980	2,902	23,078
知期質付金	2,708	1, 512	1,096
有 頭 計 為	283, 865	512, 383	£,228,518
並 軽 金	1, 166	498	668
侧 拉 像	11, 146	7,741	3,405
聚 光 用 品	126	- 56	30
保証金	100	0	100
内部新量	(2, 312)		(1, 659)
資産の服合計	9, 381, 040	9, 154, 613	226, 427
自 做 の 部	24 00000	201011010	2000
14 11	本年度末	前年度末	200 MG
固建负值	(3, 355, 003)	(2, 377, 957)	(977, 046)
長期借入金	3, 341, 746	2, 354, 492	987, 234
退職給与引当金	13, 257	23, 465	△10, 208
海 動 負 債	(890, 524)	(2, 084, 769)	(△1, 194, 245)
短期借入金	190, 246	1, 330, 937	△1, 140, 691
来 松 金	67, 479	198, 136	A130,657
前爱金	596, 596	525, 009	71,587
面 り 金			
負債の部合計	36, 203	30,687	5,516
	4, 245, 527	4, 462, 726	△217, 199
	本年度東	militar secular	100 35E
	100000000000000000000000000000000000000	前年度末	
	5, 102, 463		5, 102, 463
第 2 号 斯 本 金	0	THE REAL PROPERTY.	9
第3号基本金 (特定基本金)	150,000	150,000	0
第 4 号 基 本 金	120,000		120,000
基 本 金	7	4,606,796	△4,606,796
基本全の部合計	5, 372, 463	4, 756, 796	6.15, 607
消費収支差額の部			
H II	本年度末	前年度末	划刻
翌年度操越洲費支出超過額	236, 950	64,909	172,011
消費収支差額の部合計	236,950	64, 909	172,041

本年度末 前年度末 墹 滅

日 日 本年度末 同年度末 負債の罪・基本金の部及び 消費収支差額の部合計 9,381,040 9,154,613

入 学 金 100,000 授業料 303,000 実験実習費 5,000 83,500 491,500

1年生

(1990年入学)

180,000

10,000

201,000

1,152,000

短期大学部専攻科

2年生

(1989年入学)

972,000

但し、1990年3月英語英文科卒業 予定者は入学金免除

第2歳英社

美術学部

入 学 金

授業料

実験実習費

施設設備費

計

1年生

(1990年入学)

180,000

993.000

10,000

316.000

1,499,000

2年生

(1989年入学)

993,000

1,319,000

3年生 4年生 (1988年入学) (1987年入学)

入 学 金 授業料 993,000 実験実習費 10,000 施設設備費 1,319,000

993.000

10,000

316,000

1,319,000

員

人文学部

春季創画展 1989.4

京都市美術館

家具出展1989.5

阪急(大阪

松味利郎

独立作家展 1989.3. 明日をひらく日本新工芸展(選抜展)1988.9. 四つの風(グループ展) 1988.7. 京都・龍馬 版-視覚とその構造 '89 1989.1. 愛知県美術館 日本新工芸展 1989.3 独立春季展 1989.2 声々展 1988.4. 京展 1989.4. 日本新工芸展(会員佳作賞)1988.6. 京展 1988.4~5 ドローイング 1989 1989.3 個展 1988.10. ギャルリーユマニテ(名古屋) クラコウ国際版画ビエンナーレ \* 武蔵篤彦 (美術学部講師) 関西会員展 1989.8. 府主催選抜秀作展 1989.7 創画展 1988.4. 利画展 1988.10. 四つの風(グループ展) 1989.7. ソウル国際版画交流展 1989.6. 春季創画展 1988.4. \* 山本理顕 春季創画展 1988.4. \* 佐々木弘(美術学部教授) 1989.4~9. パリ、アルケセナン 一人展 1988.11. ギャラリー・キャプション WILD AND UNCERTAIN TIME 博覧会の建築」1989.4. 日本建築学会誌 建築非映像論」1989.6. 山本理顧的建築計画学」1988.8. 橋田二朗(美術学部教授 HAMLET」(崇唱) 1988.8. 高谷光雄(美術学部助教授 (美術学部助教授) 89 1989.2. ギャラリー・ラ・ボーラ大阪 ギャラリーユ 「新建築」「建築文化」 大阪ギャラリー井上 府文化芸術会館 東京都美術館他 彫刻の森美術館 東急デバート他 美術会館(韓国 府文化芸術会館 東京都美術館他 東京都美術館他 京都市美術館 京都市美術館 京都市美術館 東京都美術館 京都市美術館 1988.6. 府文化博物館 大阪市美術館 京都市美術館 「新建築」 「建築文化 ボーランド 京都·龍馬 (岐阜市) 個展 1988.7 京都美術選抜展 1989.5.

\* 佐藤光儀 (美術学部講師 個展 1989.5. 日春展 1989.4~5 横の会展 1989.3. "今日の作家" (川端健生氏と二人展) 農島社展 1988.6. グループ「玄」展 日展 1988.11. グループ「玄」展 1988.5. 府文化芸術会館 \* 河村源三 (美術学部助教授) 創画会展 1988.10. 晨鳥社展 1989.6 個展 1989.4. 創画会春季展 1988.4. 日展 1988.11. 京展 1988.4. 「「本の窓」表紙絵」1988.7~8. ねんげ如来」(連載)1988.4.~ 画会春季展 1989.4 渡辺信喜(美術学部教授) 佐川美代太郎(美術学部教授) 1989.5. 府文化芸術会館 東京松屋、大阪大丸 東京都美術館他 東京都美術館他 京都市美術館他 東京都美術館他 京都市美術館 京都市美術館 松坂屋(本店 京都市美術館 京都市美術館 北辰画廊 京都大丸 京都大丸 小学館

漫画小品展出品 1989.4. 漫画家の絵本の会展出品 1989.1. 丸善画廊 個展及び講演 1988.5. AAスク 個展及び講演 1988.3~4. 「9人の漫画家の動物たち」1988.12. 丸善 「寺と生活」表紙」(連載) 1988.4.~青樹社 『洛中洛話』(仏教大学四条センター) マンガは文化のパロメーター 高松伸(美術学部助教授 『鷹陵』(仏教大学 ESA (% 5) 1989.4. 長谷川画廊

個展 1988.6. THE KILLING MOON Takamatsu-Kirin Praza Osaka, Architectural Association 1988.10. ボンビドウー・ ンター(バリ

伊藤豊雄と高松伸展 1988.9~10. 東京デザ KAGUデザイナ 第13回建築設計図展 一時代の建築・5人展ー ーク・イン大阪に シ・プラザ(大阪

> 個展及び講演 1989.6. Shin Takamatsu-Aki Frudate 1989.6 『現代の建築家 高松伸展』 1989.6. イタリアローマ

太陽画廊(大阪) 京都市美術館

北斎と名古屋」1988.4. 「国造りの歴史」 オープンミュージアムの提唱」1988.6. 木工の文化」1988.4. 『橋の博物館』の試み」1988.8.『四国のくに 田中充子

くりを考える 新しい和水の時」1988.7. 「川から発想するまちづくり」

88日本ディスプレイデザイン年賞最優秀賞 日本デザインディスプレイ協会 「年鑑日本ディスプレイ商環境デザイン、89 緑の環境調査」1989.3. 橋に何が可能か」1989.3. 倉敷市架橋記念館」(展示) 1988.11. 『浪華八百八橋いまむかし 「木野評論」

『湖東町美しいまちづくり計画 京都市美術館

1988.8 明日をひらく日本新工芸展 明日をひらく日本新工芸展 日本新工芸展 1989.6. 京都工芸作家協会展 京展 1989.4. 1989.3. 府文化芸術会館 (佳作賞) (選抜展) 東急デバート他 彫刻の森美術 京都市美術

記録No. 3』制作 1988.4. 16m/m 記録映画『ペペー朽木村針畑の生活 『ベベ」、「デゴをつくる」(16m/田モノクロ シンポジュウム) 1989.4. 映像民俗学の会 「フィールドにおける映像の諸活用について

仏教大学四条センター

ヤラリー「クオーレ」

台北市美術館

(ロンドン

ブック・デザインへ『モスクワの女たち』「同 ブック・デザイン「経験の可能性」「沈黙」 和はこわい考を読む」「近代の民衆と芸能」 1985.8.~1989.4 『ベベ』(上映と講演) 1989.4~7. 京都イタリア会館 大津市立公民館 阿吽社

(美術学部講師) 「国造りの歴史」 「展示学」

橋」1988.9.

京展 1988.4. 日本新工芸展(日本新工芸賞) 1988.6. 鳥羽美花(美術学部講師) 東急デバート

0号の世界油絵展 1989.7.

日本橋三越本店

田辺市闘鶏神社

東京都美術館

京都市美術

東京都美術館 総合文化会館

彫刻の森美術館

189 美術選抜展 1989.5.

京都市美術館

\* 丸谷彰 (美術学部助教授) 1984年) 上映 1989.6.

988.4~1989.1 法律文化社 \* 松本ヒデオ(美術学部講師) 日本現代彫刻展 1989.8~9.

「壁絵のある家3」出版記念写真展 1989.5. 京都書院 「壁絵のある家2」1988.4. 「壁絵のある家1」1988.4. 京都書院 京都書院

\* 生駒泰充 (美術学部講師) 全関西行動展 1989.4~5. 京都彫刻家連盟展 1989.4. 京都野外彫刻展(宇治市買上げ賞) 1988.10 京都選抜展 1988.5. 京都彫刻家連盟展 1988.4. 府文化芸術会館 個展 1989.6. 行動展 1988.9~10. 全関西行動展 1988.4.~5. 京展 1988.4.~5. 村上泰造(美術学部教授) 京都府植物図 宇治市文化ホール 大阪市美術館他 府文化芸術会館 ギャラリー三条 東京都美術館他 大阪市美術館他 京都市美術館 京都市美術館

安田火災美術財団奨励賞展 1989.2. 関西二紀展 京都二紀展 1989.6. 1989.6 ギャラリーソノリテ(大阪) 安田火災東郷青児美術館 府文化芸術会館 大阪市美術館

個展 1989.7. 個展 1989.7 グループ展陶五人展 1989.2 個展 1988.12. \* 長谷川昇 (美術学部教授) 個展 1989.7 個展 1989.4. 佐藤敏(美術学部教授) ABCギャラリー(大阪) カサハラ画廊(大阪 マロニエ(京都 東京銀座 名古屋 名古屋

ある3つのグループ膜 全関西行動美術展 1989.4. エマー2展 1989.1. 全関西行動美術展 1988.4. 行動美術展 1988.9~10 \* 小林陸一郎 (美術学部教授) 七人のかたち展 1989.4. ミニ立体展パート5 1989.1. 本」展 1988.5. 大阪市美術館他 東京都美術館他 大阪市美術館 画廊みやざき 茶屋町画廊 茶屋町画廊 布忍神社

シガ・アニュアル 88 1988.4 一夫賞 '88 現代陶 1988.5. - 6. 遊賀近代美術館

朝日陶芸展 .6.8861 88. 丸梁百貨店(名古屋 日貨店(名古屋)他

京都書院ギャラリー 暮しのクラフト展 1989.8. 西武百貨店(池袋 日韓青年陶芸展 1989.8. 八木一夫賞 89 現代陶芸展 個展 1988.9.

ギャラリーGenkai(東京)

(優秀賞)

\* 麻田脩二

(美術学部教授)

京都市美術館

ギャラリー21 東京都美術館 京都市美術 クラフトセンター

伊勢丹(新宿

レガート EXHIBITION 1989.5. 上制作 1988.9. 京展 1989.4. 個展 1989.3. 祭礼山鉾銅掛及見送制作(3点)1989. 日本現代工芸美術展 1989.3. 個展 1989.3. 日展 1988.11. 愛媛県松前町総合文化会館 京都選抜展 1988.6. 京展 1988.4. \* 潮隆雄 (美術学部教授 新制作展 1989.9. 新制作展 1988.9. 京展 1988.4. 京都選抜展 1989.7. 滋賀工美会展 1988.9. 『現代の染め』1989.8 大阪・ギャラリー21 ロピーケースメン 滋賀近代美術館

京都市美術館 京都市美術館

東京都美術館

至文堂

「京都精華大学の実験」1988.7. 「大阪の中の海洋文化」1988.4. 「海を語る」 漁民から見た都市」1989.1.「アスティオン」 「大衆を怖れよ、建築家」1988.10.『新建築 京都精華大学風光館·流渓館」1988.7. 同右 未来の橋のイメージ」 1988.12. 「高梁川」 | 景気楼の建築| 1988,11. コンパの家」1988.7. 橋の博物館」1988.4. 上田篤(美術学部教授 「第10回サントリー学芸賞 『住宅特集』 新建築」他 「新建築」

その他論文25編 海辺聖地の研究3ミサキ」89.9.『近代建築 海辺聖地の研究2ヤマ」89.7. 『近代建築』 海辺聖地の研究1シマ」89.4. 『近代建築』 博物館からミューズランドへ』1989.3. 潜り橋」1989.3. 「現代の国語Ⅰ」 学芸出版社

\*長谷川治清 (人文学部教授) 『現代経営論』(共著)88.5. ミネルヴァ書房 「日英鉄鋼業の比較研究」(博士論文)88.7 ニューカルス大学

(オックスフォード大学出版 (共同論文) 1989.4. JAPAN FORUM.